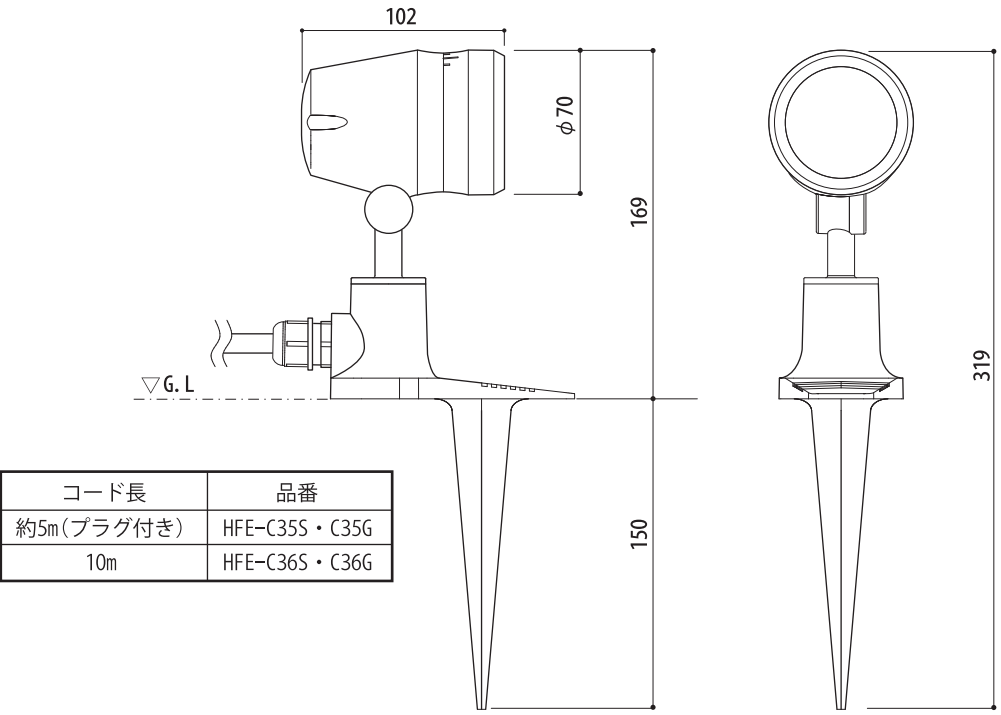


1 商品寸法図

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

※付属品：
六角レンチ×1



2 施工方法

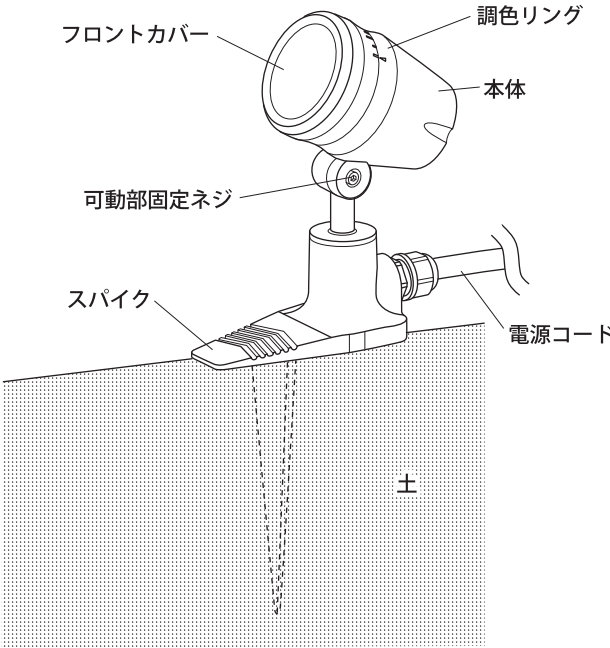
器具の取り付けに関しては、必ず電気工事有資格者が工事を行ってください。

1 スパイクを差込み固定します

地面が硬い場合は、スコップ等で地面をほぐし、スパイクをGLまで差し込んでください。(埋込必要深さ150mm)
無理に差し込むと商品が破損する恐れがあります。

⚠ 警告

- スパイクは指定寸法まで必ず垂直に挿し込んでください。指定寸法以上で挿し込みますと破損の原因となります。
- スパイクをコンクリート(モルタル)等で固定しないでください。



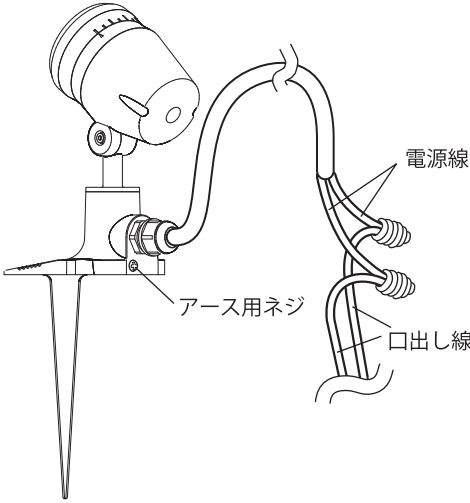
2 施工方法

2 電源を接続します

- 5mプラグ付の場合
プラグを屋外コンセントに接続します。
- 10mプラグ無しの場合
電源線と口出し線を結線してください。この際、必ず 絶縁・防水処理を行ってください。アースはアース端子に接続してください。

⚠ ご注意

- 電源線のコンクリート、モルタルなどへの直埋めは絶対にしないでください。メンテナンスができない状態を避けてください。
- 地中配線の場合は、必ず電線保護管(別売)を使用してください。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業してください。
- 必ずアース線を接続してください。アース線の接続が不完全な場合、感電の原因となります。



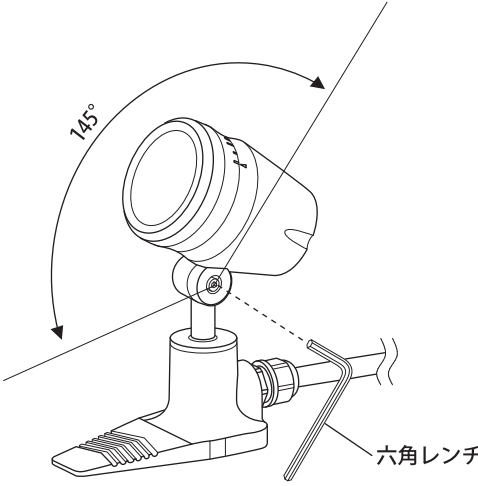
3 点灯の確認を行います

4 照射方向を調整します

※固定が不安定な場合は、照射方向を調整後、付属の六角レンチでしっかり締めてください。

⚠ ご注意

無理に角度を変えると故障の原因となりますので規定の角度(145°)以上で使用しないでください。

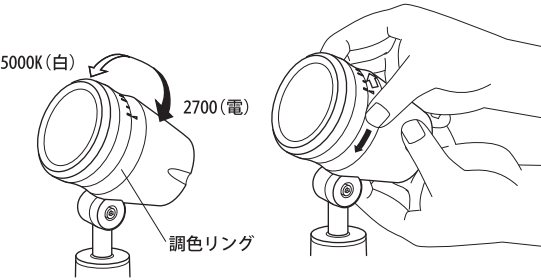


5 照射色を調整します

調色リングを回転し、色目を調整してください。

⚠ ご注意

無理な操作は故障の原因となりますので必要以上の無理な力は加えないでください。



3 日常のお手入れ

汚れが少ない場合は、水に濡らした毛先の柔らかい布やタオルなどでふいた後、乾いた布で水分をふき取ってください。また、汚れがひどい場合には、中性洗剤を水で薄めたものを使用し、必ず洗剤が残らないように水に濡らした毛先の柔らかい布やタオルなどでふいた後、乾いた布で水分をふき取ってください。(シンナーなどの溶剤は使用しないでください)